

経営比較分析表（平成28年度決算）

岩手県一関市 一関市国保藤沢病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	-	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
121,059	3,736	第2種該当	10:1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
54	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	54
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
54	-	54

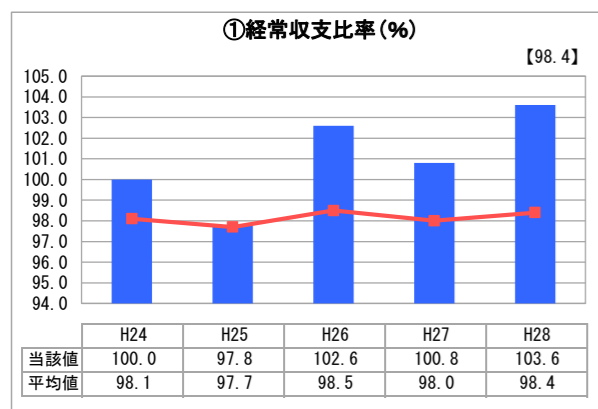
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

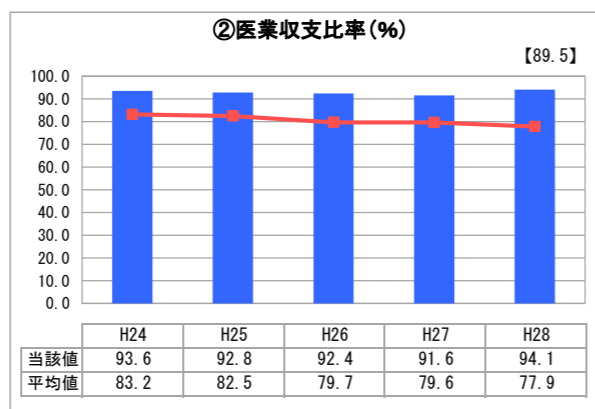
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

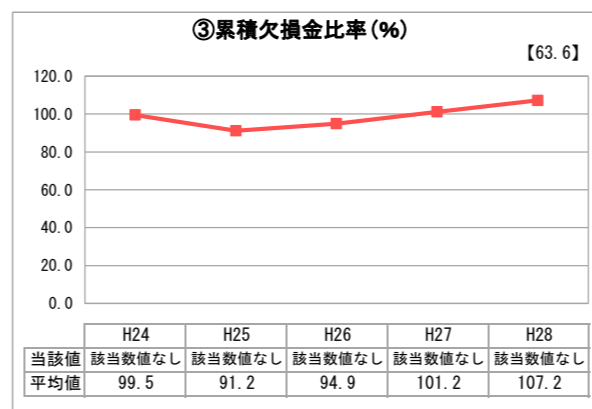
1. 経営の健全性・効率性



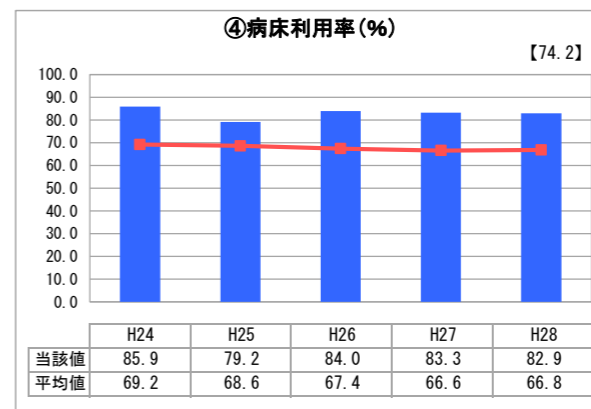
「経常損益」



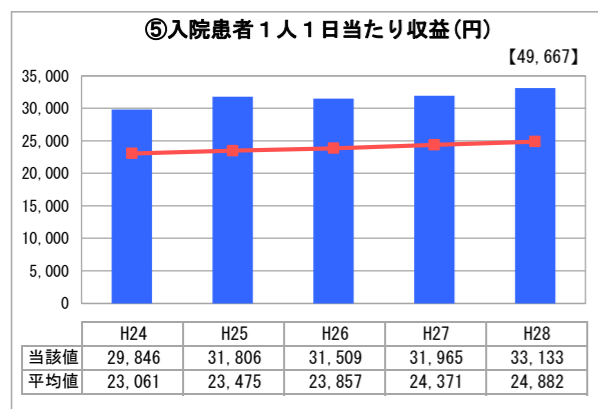
「医業損益」



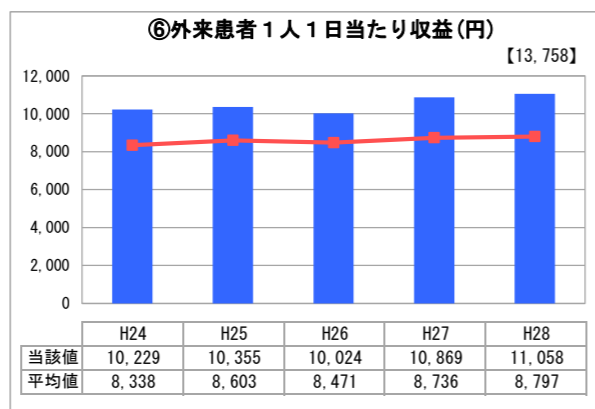
「累積欠損」



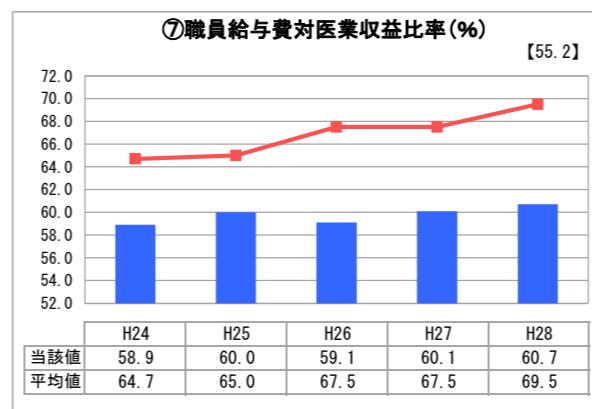
「施設の効率性」



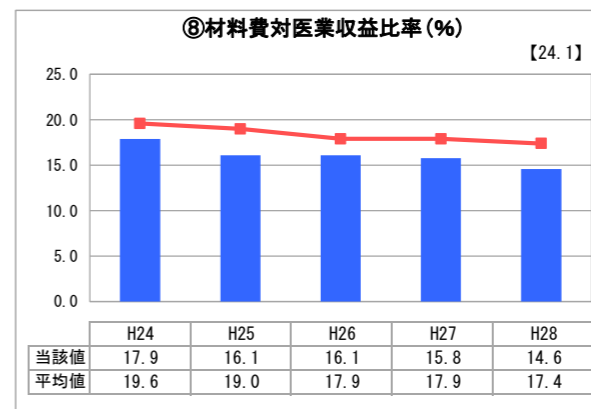
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

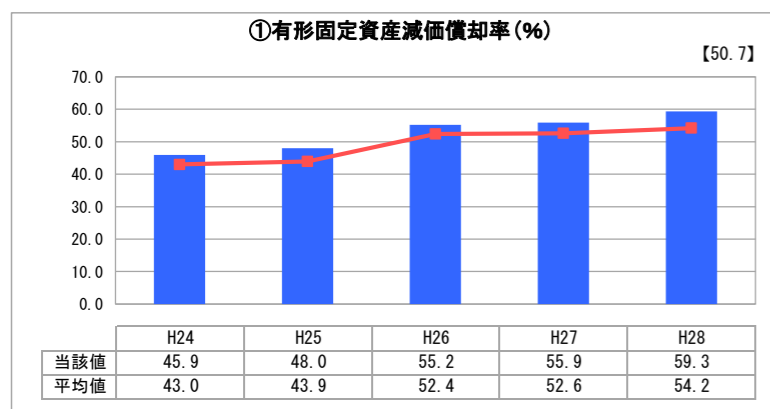


「費用の効率性①」

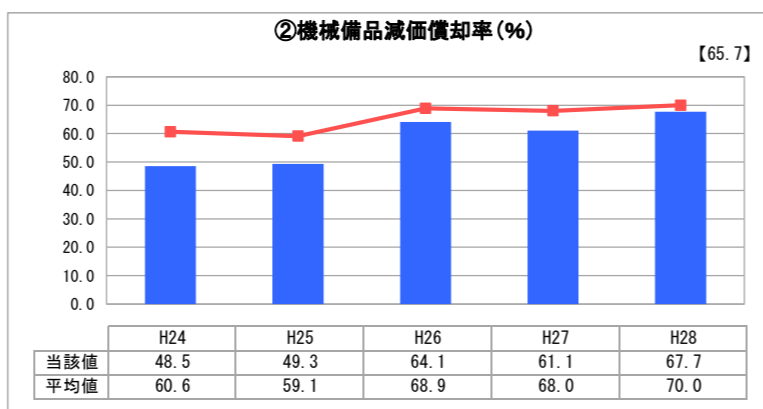


「費用の効率性②」

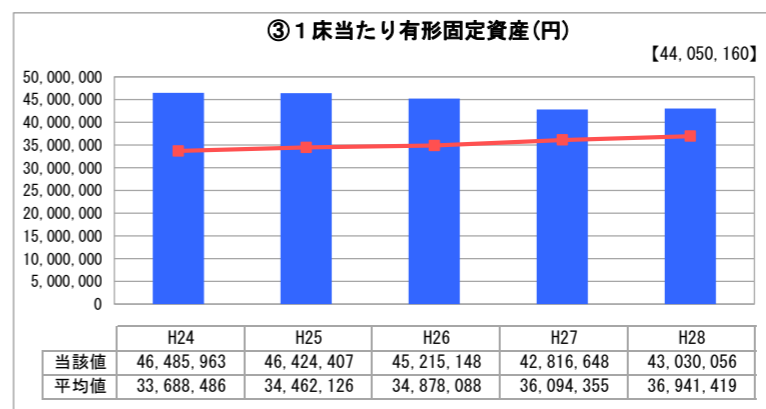
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

少子高齢化と人口減少が急激に進む山間へき地に立地し、地域に唯一の入院機能を有する医療機関として住み慣れた地域で暮らし続けることを支える医療を提供する役割を担っており、24時間の初期救急対応、入院から在宅医療、併設の老人保健施設や特別養護老人ホーム、訪問看護ステーションなど7つの介護事業の中核として、地域包括医療・ケアを推進、実践している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

3期連続して①経常収支比率が100%以上を達成しているほか、主な経営指標の全てにおいて類似病院の平均を上回り、極めて良好な経営実績を示している。ただし、医業収支比率が100%を下回っており、医業本体では損失となっていること。費用の大半を占める人件費が医業収支比率で60%を超えて上昇していることが懸念材料である。

2. 老朽化の状況について

病院建物が建築から25年を経過していることから有形固定資産減価償却率が類似病院を上回って老朽化が進んでいる。今後、内部配管の更新、築後30年以降の長寿命化対策を計画的に実施していく必要がある。1床当たり有形固定資産が、類似病院を上回っているが磁気共鳴診断装置（MRI）や多列化CT（MSCT）、電子カルテなどの高額な設備投資が影響しているものの、これらの資産を有効に活用して収益を得ている。今後においては、人口減少を背景とした病床機能、病床規模の適正化が進むことから過大投資にならないよう計画的な投資を行う必要がある。

全体総括

当院の役割である地域包括医療・ケアを実践し、累積欠損や不良債務の発生もなく健全経営を維持している。しかし、人口減少と高齢化が進み患者数の減少が見込まれることや、人材確保が益々困難になることなど経営環境が厳しくなることが予想されることから、より一層の経営の効率化に不断の努力が必要がある。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。